

令和2年2月3日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和元年12月20日付け厚生労働省発食1220第1号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

ダゾメット、メタム、メチルイソチオシアネートがそれぞれ農薬として使用されている。ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられている。

このため、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの食品中における残留基準について、まとめて検討することとする。

(1) 品目名：ダゾメット [Dazomet (ISO)]

メタム [Metam (ISO)]

メタムアンモニウム [Metam-ammonium (ISO)]

メタムナトリウム [Metam-sodium (ISO)]

メタムカリウム [Metam-potassium (ISO)]

メチルイソチオシアネート [Methyl isothiocyanate (ISO)]

(2) 用途：土壌くん蒸剤

メチルイソチオシアネートは土壌くん蒸剤であり、土壌中で気化・拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

ダゾメットはチアジアジン骨格をもつ土壌くん蒸剤であり、メタムはジチオカルバメート系の土壌くん蒸剤である。両剤とも土壌中で速やかに分解し、主にメチルイソチオシアネートとなり、このガスが土壌中に拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

(3) 化学名及びCAS番号

ダゾメット

Tetrahydro-3,5-dimethyl-1,3,5-thiadiazine-2-thione (IUPAC)

2*H*-1,3,5-Thiadiazine-2-thione, tetrahydro-3,5-dimethyl- (CAS : No. 533-74-4)

メタムアンモニウム

Ammonium methyl dithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, *N*-methyl-, ammonium salt (1:1) (CAS : No. 39680-90-5)

メタムナトリウム

Sodium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monosodium salt (9CI) (CAS : No. 137-42-8)

メタムカリウム

Potassium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monopotassium salt (9CI) (CAS : No. 137-41-7)

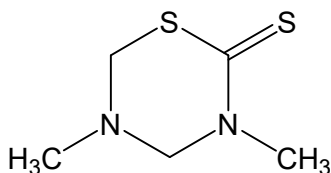
メチルイソチオシアネート

Methyl isothiocyanate (IUPAC)

Methane, isothiocyanato- (CAS : No. 556-61-6)

(4) 構造式及び物性

ダゾメット



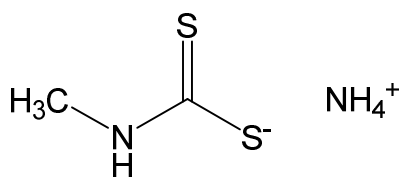
分子式 $C_5H_{10}N_2S_2$

分子量 162.28

水溶解度 3.5 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 0.6$

メタムアンモニウム



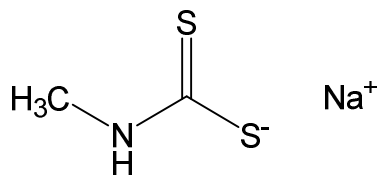
分子式 $C_2H_8N_2S_2$

分子量 124.23

水溶解度 1,368 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = -2.25 \sim -2.27$ (20°C)

メタムナトリウム



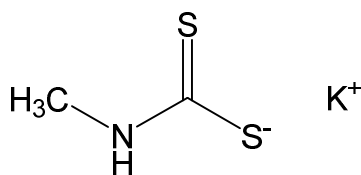
分子式 $C_2H_4NNaS_2$

分子量 129.18

水溶解度 >1000 g/L (25°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 0.04$ (25°C)

メタムカリウム



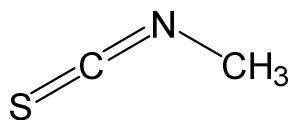
分子式 $C_2H_4KNS_2$

分子量 145.29

水溶解度 88.2 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = -2.9$ (25°C)

メチルイソチオシアネート



分子式 C_2H_3NS

分子量 73.12

水溶解度 8.2 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 1.1$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名、使用量、使用時期となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

(1) 国内での使用方法

① 96.5%ダゾメット粉粒剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
キャベツ	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 株腐病 萎黄病 パーティシウム萎凋病 根こぶ病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
非結球キャベツ	萎黄病 一年生雑草		定植21日前まで			
はくさい	根こぶ病 尻腐病 根くびれ病 黄化病 ネオブセンチュウ 一年生雑草		は種又は定植21日前まで			
だいこん	ネオブセンチュウ	10～20 kg/10 a	は種21日前まで			
	パーティシウム黒点病	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
かぶ	根こぶ病 萎黄病 一年生雑草					
こまつな	萎黄病 根こぶ病 一年生雑草					
しろな			は種21日前まで			

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、しろな、チゲンサイ、ひろしまな、みぶな、みずなを除く)	根こぶ病	30 kg/10 a	は種14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	一年生雑草	20～30 kg/10 a				
ブロッコリー カリフラワー	チンサイストセンチユ	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
	根こぶ病 一年生雑草	20～30 kg/10 a				
つぼみな	根こぶ病 一年生雑草	20 kg/10 a	は種又は定植14日前まで			
チゲンサイ		30 kg/10 a				
ひろしまな		30 kg/10 a				
みぶな みずな	立枯病(ビシウム菌) 根こぶ病 一年生雑草	20 kg/10 a	は種12日前まで			
はつか だいこん	一年生雑草		は種35日前まで			
きゅうり	苗立枯病(ビシウム菌) 苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400 g/m ³	は種又は定植21日前まで			
	つる割病 半身萎凋病 白絹病 一年生雑草	20～30 kg/10 a		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。		
かぼちゃ	苗立枯病(リゾクトニア菌) フザリウム立枯病 一年生雑草					

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
メロン	黒点根腐病 つる割病 半身萎凋病 黒変根腐症 白絹病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して 土壌と混和する。	1回
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400 g/m ³				
すいか	つる割病 白絹病 一年生雑草	20～30 kg/10 a			本剤の所定量を均一に散布して 土壌と混和する。	
	つる割病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	200～300 g/m ³				
にがうり	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～300 g/m ³			本剤の所定量を均一に散布して 土壌と混和する。	
トマト ミニトマト	萎凋病 褐色根腐病 白絹病 根腐萎凋病 半身萎凋病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a				
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	青枯病	30～60 kg/10 a				

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
なす	青枯病	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	苗立枯病(リゾクトニア菌) 半身萎凋病 白絹病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30				
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病 黒あざ病 萎凋病 一年生雑草	kg/10 a	植付21日前まで			
	半身萎凋病 萎凋病 青枯病 白絹病 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
とうがらし類	苗立枯病(リゾクトニア菌) 萎凋病 疫病 青枯病 一年生雑草	30 kg/10 a	定植21日前まで			
ねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10 a	は種又は定植14日前まで			
	紅色根腐病 ネバハモグリバエ	30 kg/10 a				
	苗立枯病(リゾクトニア菌) 白絹病 小菌核腐敗病 萎凋病 根腐萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a				

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
わけぎ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
たまねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10 a				
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	乾腐病 白絹病 一年生雑草 ネオブセンチュウ	20～30 kg/10 a				
	苗立枯病	20～40 kg/10 a				
	黒穂病 一年生雑草	20～30 kg/10 a				
葉たまねぎ (苗床)	一年生雑草	10～20 kg/10 a				
にんにく	紅色根腐病 白絹病 任ゲサルセンチュウ 一年生雑草	30 kg/10 a	植付28日前まで	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。		
らっきょう	根腐病 乾腐病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	30kg/10 a	植付21日前まで			
にら	乾腐病 紅色根腐病 白絹病		30kg/10 a		は種又は定植21日前まで	
	一年生雑草	30～60 kg/10 a				

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
にんじん	萎凋病 根腐病 しみ腐病 乾腐病 白絹病 ネブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
パセリ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 疫病 萎凋病 一年生雑草	30 kg/10 a				
セリ	萎黄病 一年生雑草					
あしたば	苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草		は種10日前まで			
しゅんぎく	萎凋病 一年生雑草	20 kg/10 a	は種21日前まで			
ごぼう 葉ごぼう	萎凋病 黒あざ病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種28日前まで			
もりあざみ	黒あざ病 半身萎凋病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種21日前まで			
レタス	すそ枯病 白絹病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで			
	ネブセンチュウ	30 kg/10 a				
非結球レタス	すそ枯病 根腐病 白絹病 一年生雑草	20～30 kg/10 a				

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
食用ぎく	センチュウ類 (ハカレセンチュウを除く) 萎凋病 半身萎凋病 白絹病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	青枯病	30 kg/10 a				
ふき	半身萎凋病 白絹病 一年生雑草		20 kg/10 a			
みつば	立枯病 一年生雑草	30 kg/10 a				
豆類 (未成熟、ただし、えだまめ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげん、未成熟そらまめを除く)	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草		20~30 kg/10 a			
さやいんげん	苗立枯病(リゾクトニア菌) 葉腐病 白絹病 一年生雑草	30 kg/10 a				
えだまめ	ダイズシストセンチュウ					

① 96.5%ダズメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダズメットを含む農薬の総使用回数
未成熟そらまめ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 えそモザイク病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種21日前 又は定植45 日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
さやえんどう 実えんどう	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
かんしょ	紫紋羽病 つる割病 白絹病 ネブセンチュウ 一年生雑草		植付21日前まで			
こんにゃく	白絹病 乾腐病 根腐病 一年生雑草					
さといも さといも (葉柄)	乾腐病 ネブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a	定植21日前まで			
しょうが	根茎腐敗病 一年生雑草	30～60 kg/10 a 20～30 kg/10 a				
葉しょうが	根茎腐敗病 一年生雑草	30 kg/10 a 20～30 kg/10 a				
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	立枯症 一年生雑草	30 kg/10 a	定植42日前まで			

① 96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
いちご	萎黄病 萎凋病 炭疽病 芽枯病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	仮植又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	青枯病 疫病	30 kg/10 a				
ほうれんそう	ホレンソウカガコナダニ 立枯病 萎凋病 株腐病 根腐病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種10日前まで			
てんさい	叢根病 苗立枯病	200～400 g/m ³	秋期(翌春は種)			
やまのいも	根腐病 褐色腐敗病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	植付21日前まで			
つるむらさき	ネブセンチュウ 一年生雑草		定植21日前まで			
しそ	青枯病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで			
モロヘイヤ	ネブセンチュウ 一年生雑草		定植30日前まで			
チャービル	一年生雑草	20 kg/10 a	は種42日前まで			
なし	白紋羽病	100 g/m ²	夏期～秋期			
ぶどう		50～100 g/m ²				
りんご				紫紋羽病 白紋羽病		

② 50.0%メタムアンモニウム（カーバム）剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムを含む農薬の総使用回数	
キャベツ	バーティシウム萎凋病	原液として 30 L/10 a	植付14日前まで	1回	(散布全面処理<無被覆>) 無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。	1回	
	バーティシウム萎凋病 根こぶ病				(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後に植付をする。		
はくさい	根こぶ病 黄化病		植付30日前まで		は種14日前まで		(散布全面処理<無被覆>) 無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10日後にガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。
こんにやく	根腐病						(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で7～10日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日後には種をする。
だいこん	ネグサセンチュウ						

② 50.0%メタムアンモニウム（カーバム）剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバムを 含む農薬 の総使用 回数
トマト	青枯病	原液として 30 L/10 a	植付14日前 まで	1回	(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で7～10日間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日 後に植付をする。	1回
	褐色根腐病				(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール 等で被覆する。原液30 Lを水と共に 10 a当たり水量が3000 L（100倍希 釈）になるように灌水注入して、7 ～10日間被覆した後ガス抜きを行 い、ガス抜き7～10日後に植付又はは 種をする。	
きゅうり すいか	ネコブセンチュウ				(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で7～10日間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日 後に植付をする。	
いちご	萎黄病		(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等 で被覆する。原液30 Lを水と共に10 a 当たり水量が3000 L（100倍希釈） になるように灌水注入して、7～10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガ ス抜き7～10日後に植付又はは種を する。			
ほうれんそ う	萎凋病		は種14日前 まで			

② 50.0%メタムアンモニウム（カーバム）剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	カーバムを 含む農薬の 総使用回数
ねぎ (春播露地 栽培苗床) わけぎ (春播露地 栽培苗床) あさつき (春播露地 栽培苗床)	畑地一年生 雑草	原液として 30 L/10 a	は種14日前 まで	1回	(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で1～2週間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日 後には種をする。	1回
					(散布表面処理) 原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ 等で土壌表面に均一に散布して、ビ ニール等で1～2週間被覆した後ガス抜 きを行い、ガス抜き7～10日後には種 する。	
たまねぎ (秋播露地 栽培苗床)			は種30日前 まで		(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で1～2週間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き7～10日 後には種をする。	
					(散布表面処理) 原液を水で30倍に希釈して、ジョウロ 等で土壌表面に均一に散布して、ビ ニール等で1～2週間被覆した後ガス抜 きを行い、ガス抜き7～10日後には種 する。	

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
みずな	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	原液として 60 L/10 a	は種又は定植 の10日前 まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
ほうれんそう	株腐病 立枯病 ホウレンソウケガコ ダニ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	萎凋病 一年生雑草				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
ねぎ わけぎ あさつき	白絹病 一年生雑草	原液として 40 L/10 a	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。			
	根腐萎凋病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。			
	黒腐菌核病		予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。			
			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。			
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
きゅうり	苗立枯病 (リゾクチニア菌)	原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の15 日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	つる割病 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
	つる割病 ネオブセンチュウ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
すいか	ネオブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
	つる割病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
かぼちゃ	立枯病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
メロン	ネオブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
	黒点根腐病	原液として 80 L/10 a				

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数			
ピーマン とうがらし 類	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 萎凋病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の15 日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回			
	萎凋病				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。				
	半身萎凋病				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。				
かんしょ	ネブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
	つる割病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。				
にんじん	しみ腐病 ネブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
トマト ミニトマト	萎凋病 一年生雑草				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。				
	萎凋病 半身萎凋病 ネブセンチュウ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
								所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
なす	半身萎凋病 ネオブセンチュウ	原液として 40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	1回
	一年生雑草	原液として 40 L/10 a				
	苗立枯病 (リゾクニア菌) 半身萎凋病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	半枯病				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
こんにゃく	根腐病	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
	ネオブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a				
	乾腐病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	乾性乾腐病 一年生雑草					
	根腐病	原液として 40～60 L/10 a				
ごぼう	ネグサレセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
さといも	乾腐病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
だいこん	バーティシウム黒点病 ネグサレセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
	バーティシウム黒点病 一年生雑草		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。			

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
いちご	萎黄病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。					
萎黄病 ネグサセンチュウ 一年生雑草	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。					
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	根茎腐敗病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
しょうが					予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
かぶ	萎黄病 一年生雑草				原液として 40 L/10 a	
		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。				
さやえんどう 実えんどう	萎凋病	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	1回
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
キャベツ	パーティリウム 萎凋病	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	根こぶ病 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	
はくさい	根こぶ病 根くびれ病 黄化病 一年生雑草		原液として 60 L/10 a		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	たまねぎ	乾腐病 黒腐菌核病 一年生雑草			原液として 80 mL/m ²	
乾腐病		所定量の薬液を積み上げた土壌表面に散布し直ちに被覆する。				
苗立枯病 (リゾクトニア菌)		原液として 40～60 L/10 a	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。			
レタス 非結球レタス	ネグサレンチュウ 一年生雑草		は種又は定植の10日前まで		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	根腐病				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。	
	ビクバイン病 すそ枯病 一年生雑草	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
にら にら(花茎)	乾腐病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。			
	乾腐病 葉腐病 一年生雑草		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。			
	ネグサレンチュウ 一年生雑草		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。			

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数	
ブロッコリー	ネブセンチュウ	原液として 40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。	1回	
	一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
やまのいも	ネブセンチュウ	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。		
	根腐病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
ばれいしょ	そうか病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。		
にんにく	乾腐病 イゲガサセンチュウ 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
	イゲガサセンチュウ				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。		
フゲンサイ	ネブセンチュウ	原液として 40 L/10 a			は種又は定植の10日前まで		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。
	萎黄病	原液として 60 L/10 a			前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
にら にら(花茎)	前作のにら又ははにら(花茎)の古株枯死	原液として 60 L/10 a			前作の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆又は覆土・鎮圧する。
	前作のにら又ははにら(花茎)の古株枯死、 雑草蔓延防止		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。 予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布又は灌水する。				

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
トマト、ミニトマト いちご ピーマン とうがらし類 きゅうり モン、すいか かぼちゃ なす ほうれんそう はくさい ねぎ、にんにく、わけぎ あさつき チンゲンサイ みずな レタス 非結球レタス だいこん キャベツ ブロッコリー にんじん たまねぎ さやえんどう 実えんどう スピーキニ	前作のいちごの ネグサレセンチュウ蔓延 防止	原液として 60 L/10 a	前作の栽培 終了後から 残渣撤去ま でただし、 は種又は定 植の15日前 まで	1回	予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する。	1回
	前作のトマト、ミニト マト、ピーマン、とうが らし類又はきゅ うりのネグサレセンチュ ウ蔓延防止					
	前作のきゅうり のモジラミ類蔓延 防止					
	前作のきゅうり の褐斑病の蔓延 防止					
	前作のなすのフ ザリウム立枯病の 蔓延防止					
	前作のにんにく のネグサレセンチュウ 蔓延防止	原液として 40～60 L/10 a				
	前作のトマト又はミ ニトマトのモジラミ類 蔓延防止					
	前作の野菜類の 古株枯死					
	前作の野菜類の アザミウマ類蔓延防 止					
	原液として 60 L/10 a				所定量の薬液を水で希釈し土 壌表面に散布又は灌水する	
	所定量の薬液を水で希釈し土 壌表面に散布又は灌水する。					
	予め被覆した内で、所定量の 薬液を水で希釈し土壌表面に 散布又は灌水する					
	所定量の薬液を水で希釈し土 壌表面に散布又は灌水する。					

③ 33.0%メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）液剤（つづき）

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	カーバムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	前作のほうれんそうのホウレンソウカコガネ蔓延防止	原液として 40～60 L/10 a	前作の栽培終了後からは種の7日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布する。	1回
					所定量の薬液を土壌表面に散布し混和する。	
ねぎ	前作のねぎの寄生収穫残渣の加バネノコバエ類蔓延防止	原液として 40 mL/m ²	前作の栽培終了後から撤去までただし、は種又は定植の10日前まで		集積した残渣物に所定量の薬液を散布し被覆する。	
にんじん			前作の栽培終了後から撤去までただし、は種又は定植の15日前まで			

④ 20.0%メチルイソチオシアネート油剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数	
ほうれんそう	苗立枯病 (ピシウム菌)	40 L/10 a (1穴当たり4 mL)	は種の 30日前 まで	1回	圃場を耕起・ 整地した後、 30 cm間隔のチ ドリに深さ約 12~15 cmの 穴をあけ、所 定量を注入 し、直ちに覆 土しポリエチ レン、ビニール等で被 覆する。 薬剤処理7~ 10日後にガス 抜き作業を行 う。	1回	
トマト ミニトマト	萎凋病 センチュウ類	30~40 L/10 a (1穴当たり 3~4 mL)	は種又は植 付けの 21日前 まで				
なす	半身萎凋病 半枯病 センチュウ類						
きゅうり すいか	つる割病 センチュウ類						
レタス 非結球レタス	根腐病 センチュウ類						
たまねぎ	乾腐病 センチュウ類						
いちご	萎黄病 センチュウ類						
やまのい も	褐色腐敗病 センチュウ類						
ふき	半身萎凋病 センチュウ類						
ねぎ あさつき わけぎ	白絹病 萎凋病 センチュウ類						
メロン	つる割病 センチュウ類						植付けの30 日前まで

④ 20.0%メチルイソチオシアネート油剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
にんじん	センチュウ類	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)	植付けの28日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、30 cm間隔のチドリに深さ約12～15 cmの穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～10日後にガス抜き作業を行う。	1回
	萎黄病					
だいこん	センチュウ類	20～40 L/10 a (1穴当たり2～4 mL)	は種又は植付けの21日前まで			
こんにやく らっきょう	根腐病 センチュウ類	30～40 L/10 a (1穴当たり3～4 mL)				

⑤ 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1,3-ジクロロプロペン油剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
しょうが	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ごぼう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の21日前まで			
	萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ねぎ わけぎ あさつき	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付けの14日前まで			
	萎凋病 白絹病 黒腐菌核病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	根腐萎凋病	40 L/10 a				

⑤ 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1,3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	乾腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	黒腐菌核病	30 L/10 a				
ふき	センチュウ類	20～30 L/10 a	植付の30日前まで			
	半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a				
トマト トマト	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	半身萎凋病	30 L/10 a				
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40 L/10 a				
	萎凋病 根腐萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
だいこん	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。		
	根こぶ病 パーティリウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで (砂質土)			
	根こぶ病 パーティリウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

⑤ 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1,3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
すいか	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
メロン	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで			
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ほうれんそう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の30日前まで			
	バーティシウム 萎凋病	30 L/10 a				
	萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	苗立枯病 (ピシム菌)	40 L/10 a				
かぶ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の21日前まで			
	根こぶ病 バーティシウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
らっきょう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	黒腐菌核病 根腐病 乾腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

⑤ 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1,3-ジクロロプロペン油剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
にんにく	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 L/10 a				
キャベツ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	バーティリウム 萎凋病	40 L/10 a				
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
はくさい	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	黄化病	30 L/10 a				
	萎黄病 根こぶ病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
レタス 非結球レタス	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	バーティリウム 萎凋病	30 L/10 a				
	根腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
いちご	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	疫病 萎凋病	30 L/10 a				
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

⑤ 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1,3-ジクロロプロペン油剤（つづき）

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
きゅうり	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
にんじん	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	萎凋病 しみ腐病 黒しみ病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	なす	20～30 L/10 a				
なす	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a				
こんにゃく	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
やまのいも	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	褐色腐敗病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象物質

- ・ダゾメット
- ・メタムアンモニウム
- ・メタムナトリウム
- ・メチルイソチオシアネート（以下、MITC という）

② 分析法の概要

i)ダゾメット、メタムアンモニウム、メタムナトリウム及びMITC

試料に水及び酢酸エチル又は n -ヘキサンを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC並びにダゾメット、メタムアンモニウム及びメタムナトリウムから生成したMITCを蒸留する。留出液から n -ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ(GC-NPD)で定量する。

または、試料に水及び酢酸エチル又はリン酸緩衝液(pH 8.0)、塩化ナトリウム及び酢酸エチルを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC並びにダゾメット、メタムアンモニウム及びメタムナトリウムから生成したMITCを蒸留する。水層及び酢酸エチル層を分取して塩析し、必要に応じてSCXカラムを用いて精製した後、GC-NPD又はガスクロマトグラフ・質量分析計(GC-MS)で定量する。

定量限界：0.002～0.02 mg/kg

ii)MITC

試料に水及び n -ヘキサン又は酢酸エチルを加えて加熱還流し、留出液から n -ヘキサン又は酢酸エチルを分取し、炎光光度型検出器（硫黄用干渉フィルター）付きガスクロマトグラフ(GC-FPD(S))又はGC-NPDで定量する。

定量限界：0.003～0.05 mg/kg

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、1-2、1-3 及び 1-4 を参照。

4. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

① ダゾメット

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

(動物種) 雌イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.004 mg/kg 体重/day

② メタムアンモニウム

無毒性量：0.5 mg/kg 体重/day

(ADI 設定根拠資料①) 慢性毒性試験

(動物種) イヌ

(投与方法) カプセル経口

(期間) 1年間

(ADI 設定根拠資料②) 繁殖毒性試験

(動物種) 雄ラット

(投与方法) 強制経口

(期間) 2世代

安全係数：100

ADI：0.005 mg/kg 体重/day

③ メタムナトリウム及びメタムカリウム

無毒性量：0.75 mg/kg 体重/day

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.0075 mg/kg 体重/day

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ADIの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

- ④ メチルイソチオシアネート
無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day
(ADI 設定根拠資料①) 亜急性毒性試験
(動物種) イヌ
(投与方法) 強制経口
(期間) 90 日間

(ADI 設定根拠資料②) 慢性毒性試験
(動物種) イヌ
(投与方法) 強制経口
(期間) 1 年間
安全係数：100
ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(2) ARfD

- ① ダゾメット
無毒性量：2.8 mg/kg 体重
(動物種) 雄イヌ
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 亜急性毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.028 mg/kg 体重
- ② メタムアンモニウム
無毒性量：3 mg/kg 体重/day
(動物種) イヌ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 慢性毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.03 mg/kg 体重
- ③ メタムナトリウム及びメタムカリウム
無毒性量：2.16 mg/kg 体重/day
(ARfD 設定根拠資料①) 発生毒性試験
(動物種) ラット
(投与方法) 強制経口

(ARfD 設定根拠資料②) 発生毒性試験

(動物種) ウサギ
(投与方法) 強制経口
安全係数：100
ARfD：0.021 mg/kg 体重

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ARfDの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート
無毒性量：10 mg/kg 体重
(動物種) 雄マウス及び雄ウサギ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 一般薬理試験
安全係数：100
ARfD：0.1 mg/kg 体重

(3) グループ ADI 及びグループ ARfD の設定

食品安全委員会は、総合的な評価において、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壤中でメチルイソチオシアネートに分解され活性成分となること、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられることから、メチルイソチオシアネートを総合的な評価対象物質としており、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートのグループ ADI 及びグループ ARfD は、メチルイソチオシアネートの ADI 及び ARfD を用いて、それぞれ 0.004 mg/kg 体重/day 及び 0.1 mg/kg 体重 と設定した。

5. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EU において果菜類、葉菜類等に基準値が設定されている。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

メチルイソチオシアネートとする。

ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられていることから、残留の規制対象をメチルイソチオシアネートとする。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価対象

メチルイソチオシアネートとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートにおける農産物中の暴露評価対象物質をメチルイソチオシアネートとしている。

(4) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	20.9
幼小児 (1~6歳)	40.4
妊婦	20.3
高齢者 (65歳以上)	23.9

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算法：基準値案×各食品の平均摂取量

<参考>

	EDI/ADI (%) ^{注)}
国民全体 (1歳以上)	3.6
幼小児 (1~6歳)	6.6
妊婦	3.4
高齢者 (65歳以上)	4.2

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1~6歳) における摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない^{注)}。詳細な暴露評

価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用い、平成17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				経過日数	残留濃度 (mg/kg) 注2)注3)
		剤型 注1)	使用量・使用方法	回数	使用時期		
みぶな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種11, 14日前	35, 38, 42	圃場A:<0.009 (1回, 35日)
						32, 35, 39	圃場B:<0.009 (1回, 32日)
チンゲンサイ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	48	圃場A:0.003
						47	圃場B:<0.002
カリフラワー (花蕾)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植24日前	79	圃場A:<0.002
					定植21日前	125	圃場B:<0.002
ブロッコリー (花蕾)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	76	圃場A:<0.002
						113	圃場B:<0.002
しろな (茎葉)	1	98.0%粉粒剤	15 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01
ひろしまな (茎葉)	3	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植11日前	56, 66	圃場A:<0.004 (1回, 56日)
					定植21日前	66, 76	圃場B:<0.004 (1回, 66日)
					定植11, 21日前	83, 93	圃場C:0.007 (1回, 83日)
つぼみな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	85	圃場A:0.032
						83	圃場B:<0.008
ごぼう (根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種21日前	185	圃場A:<0.004
						182	圃場B:<0.004
しゅんぎく (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種12日前	57	圃場A:<0.004
						72	圃場B:0.013
レタス (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種21日前	53	圃場A:<0.004
					59	圃場B:0.004	
					は種14日前	54, 61, 68	圃場C:<0.02 (1回, 54日)
葉ごぼう (茎葉及び根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種14, 21, 24日前	91, 98, 101	圃場A:<0.02 (1回, 91日)
						圃場B:<0.02 (1回, 91日)	
やまごぼう (根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種21日前	161, 168, 175	圃場A:<0.008 (1回, 161日)
					は種24日前	圃場B:<0.008 (1回, 161日)	
ふき (可食部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植22日前	353	圃場A:<0.008
					定植21日前	110	圃場B:<0.008
食用ぎく (花全体)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	127	圃場A:<0.004
					定植19日前	144	圃場B:<0.004
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和処理	1	は種17日前	270	圃場A:<0.005
					は種15日前	273	圃場B:0.017
	2	98.0%粉粒剤	20 g/m ² (苗床) 土壌混和処理	1	は種14日前	255	圃場A:<0.002
					239	圃場B:<0.002	
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	245	圃場A:0.014
					定植22日前	200	圃場B:0.014
2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植21日前	131, 138, 145	圃場A:0.02 (1回, 131日)	
				224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)		
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和処理	1	は種14日前	179	圃場A:<0.02
					は種15日前	171	圃場B:<0.02
ねぎ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.005 (#)
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.003 (#)
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.005 (#)
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床) 土壌混和処理	1	は種14日前	335	圃場A:<0.002
					は種22日前	245	圃場B:0.003
4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植20日前	115	圃場C:0.003	
				164	圃場D:0.005		
葉ねぎ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和処理	1	定植20日前	136	圃場A:<0.002
					97	圃場B:0.009	
	2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床) 土壌混和処理	1	は種18日前	245	圃場A:<0.002
					は種16日前	252	圃場B:<0.002
2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)	
				は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.010 (#)	
2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和処理	2	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)	
				は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.014 (#)	

ダゾメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				経過日数	残留濃度 (mg/kg) 注2)注3)	
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期			
にんにく (鱗片)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	289	圃場A:0.021	
					植付22日前	295	圃場B:<0.004	
にら (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	213	圃場A:<0.008	
						144	圃場B:<0.008	
	3	96.5%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	104, 111, 118	圃場A:<0.01 (1回, 104日)	
わけぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54	圃場A:0.02 (1回, 47日)	
						47, 54	圃場B:0.02 (1回, 47日)	
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54	圃場A:0.02 (1回, 48日)	
らっきょう (鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 54	圃場B:<0.01 (1回, 47日)	
						47, 54	圃場B:<0.01 (1回, 47日)	
にんじん (根部)	3	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	
						は種21日前	126	圃場B:<0.005
						は種26日前	124	圃場C:<0.005
	5	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	
						は種21日前	126	圃場B:<0.005
						は種26日前	124	圃場C:<0.005
パセリ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	80, 94	圃場A:0.005 (1回, 80日)	
						80, 95	圃場B:0.007 (1回, 80日)	
セルリー (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	91	圃場A:0.002	
みつば (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	114	圃場B:0.002	
						80	圃場A:<0.02	
あしたば (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 21日前	130	圃場B:<0.02	
						248, 259	圃場A:<0.04 (1回, 248日)	
トマト (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	223, 237	圃場B:<0.04 (1回, 223日)	
						83	圃場A:<0.005	
ミニトマト (果実)	2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	92	圃場B:<0.005	
						71, 78, 85	圃場A:<0.02 (1回, 71日)	
ピーマン (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	77, 84, 91	圃場B:0.111 (1回, 91日)	
						98, 105, 112	圃場A:<0.02 (1回, 98日)	
なす (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21、27、42日前	80, 87, 94	圃場B:<0.02 (1回, 80日)	
						72, 78, 93	圃場A:<0.02 (1回, 72日)	
甘長とうがらし (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	87, 94, 108	圃場B:<0.02 (1回, 87日)	
						66	圃場A:<0.005	
ししとう (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	51	圃場B:<0.005	
						106	圃場A:0.003	
きゅうり (果実)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	73	圃場B:<0.003	
						定植21日前	73	圃場B:<0.003
	10	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	84	圃場A:<0.004	
					定植20日前	67	圃場A:<0.005	
					定植21日前	67	圃場A:<0.005	
					定植20日前	55	圃場B:0.028	
					定植20日前	55	圃場B:0.036	
					定植20日前	54	圃場C:0.002	
					定植20日前	58	圃場D:0.003	
					定植23日前	75	圃場E:0.025	
					定植20日前	47	圃場F:0.014	
					定植16日前	45	圃場G:0.036	
	定植29日前	64	圃場H:0.033					
	定植21日前	55	圃場I:0.005					
定植11日前	49	圃場J:<0.002 (#)						
10	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	106	圃場A:<0.005		
				は種18日前	79	圃場B:<0.005		
				は種21日前	90	圃場C:<0.002		
				は種11日前	70	圃場D:0.003 (#)		
				は種2日前	83	圃場E:0.006 (#)		
				は種21日前	73	圃場F:0.003		
は種11日前	66	圃場G:<0.002 (#)						
は種7日前	68	圃場H:<0.002 (#)						
は種14日前	71	圃場I:0.016 (#)						
は種1日前	74	圃場J:0.005 (#)						

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注2)注3)				
		剤型 ^{注1)}	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数			
きゅうり (果実)	8	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種21日前+定植20日前	54	圃場A:<0.002 (#)			
					は種11日前+定植20日前	58	圃場B:0.003 (#)			
					は種2日前+定植23日前	75	圃場C:0.016 (#)			
					は種21日前+定植20日前	47	圃場D:0.030 (#)			
					は種11日前+定植21日前	55	圃場E:0.004 (#)			
					は種7日前+定植11日前	49	圃場F:<0.002 (#)			
					は種14日前+定植16日前	45	圃場G:0.026 (#)			
					は種1日前+定植29日前	64	圃場H:0.028 (#)			
	10	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種16日前+定植21日前	67	圃場A:<0.005 (#)			
					は種18日前+定植20日前	55	圃場B:0.054 (#)			
					は種21日前+定植20日前	54	圃場C:0.003 (#)			
					は種11日前+定植20日前	58	圃場D:0.005 (#)			
					は種2日前+定植23日前	75	圃場E:0.020 (#)			
					は種21日前+定植20日前	47	圃場F:0.029 (#)			
					は種11日前+定植21日前	55	圃場G:0.002 (#)			
					は種7日前+定植11日前	49	圃場H:<0.002 (#)			
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	139	圃場A:0.018				
				定植20日前	89	圃場B:0.022				
				2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種16日前	139	圃場A:<0.002 (#)
								は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)
2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)				
				は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.007 (#)				
				2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	90	圃場A:<0.005
								圃場B:<0.005		
2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種20日前	112	圃場A:<0.005				
				は種14日前	132	圃場B:<0.005				
				2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種14日前+定植20日前	90	圃場A:<0.005 (#)
								は種20日前+定植20日前	81	圃場B:<0.005 (#)
メロン (果実)	2	98.0%粉粒剤	40 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植13日前	82	圃場A:0.002			
					定植16日前	90	圃場B:0.002			
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種9日前	93	圃場C:<0.002			
					は種14日前	103	圃場D:<0.002			
	2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床)+40 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種9日前+定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)			
					は種14日前+定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)			
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	81	圃場A:<0.01				
				定植22日前	63	圃場B:0.02				
ほうれんそう (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	60	圃場A:0.005			
					は種22日前	53	圃場B:0.005			
	11	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	60	圃場A:0.005			
					は種22日前	53	圃場B:0.010			
					は種10, 14日前	52, 56	圃場C:0.023 (1回, は種14日前, 56日)			
						45, 49	圃場D:0.023 (1回, 49日)			
						50, 55	圃場E:0.058 (1回, 50日)			
					は種10日前	55	圃場F:0.025			
						41	圃場G:<0.002			
						39	圃場H:0.028			
						47	圃場I:0.005			
					2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	197, 204, 211
	224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)								
	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	115, 120, 127	圃場A:<0.008 (1回, 115日)			
定植21日前					97, 104, 111	圃場B:<0.008 (1回, 97日)				
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	200	圃場A:<0.002				
				は種20日前	112	圃場B:0.003				
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	161	圃場A:0.006				
				は種20日前	96, 103	圃場B:0.018 (1回, 96日)				
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	69	圃場A:<0.004				
				82	圃場B:<0.004					
しょうが (根茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005			
					定植24日前	202	圃場B:<0.005			
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005				
				定植24日前	202	圃場B:<0.005				
2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	197, 204, 211	圃場A:<0.02 (1回, 197日)				
				224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 224日)					
葉しょうが (根茎及び茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	115, 120, 127	圃場A:<0.008 (1回, 115日)			
					定植21日前	97, 104, 111	圃場B:<0.008 (1回, 97日)			
えんどう (未成熟子実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	200	圃場A:<0.002			
					は種20日前	112	圃場B:0.003			
さやえんどう (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	161	圃場A:0.006			
					は種20日前	96, 103	圃場B:0.018 (1回, 96日)			
未成熟いんげん (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	69	圃場A:<0.004			
					82	圃場B:<0.004				

ダズメットの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注2)注3)						
		剤型注1)	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数					
えだまめ (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	82	圃場A:<0.009					
						79	圃場B:<0.009					
モロヘイヤ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植30日前	92, 99	圃場A:<0.008 (1回, 92日)					
					定植33日前	101, 108	圃場B:<0.008 (1回, 101日)					
つるむらさき (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004					
						57	圃場B:<0.004					
さといも (葉柄)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	125	圃場A:<0.009					
						125	圃場B:<0.009					
いちご (果実)	1	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	68	圃場A:<0.005					
						2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	1	定植20日前	164	圃場A:<0.005
											124	圃場B:<0.005
						2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a (仮苗床) 土壌混和处理	1	仮植17日前	215	圃場A:<0.005
184	圃場B:<0.005											
2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a (仮苗床) +30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	2	仮植17日前+定植20日前	164	圃場A:<0.005 (#)						
					124	圃場B:<0.005 (#)						
チャービル (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種42日前	112	圃場A:<0.01					
					は種41日前	87	圃場B:<0.01					
みょうが (可食部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植49日前	143	圃場A:<0.002					
					定植40日前	172	圃場B:<0.002					
しそ (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種13, 21, 30日前	104, 110, 124	圃場A:0.006 (1回, 104日)					
					は種14, 20, 30日前	112	圃場B:0.005					
					定植14, 21日前	42, 49	圃場C:<0.01 (1回, 42日)					
					69, 76	圃場D:0.09 (1回, 69日)						

注1) 98.0%粉粒剤は現在登録がないが、登録のある96.5%粉粒剤は分析法の違いによる見かけ上の数値の違いで、98.0%粉粒剤と同一の製剤である。

注2) メチルイソチオシアネート及びダズメットの合計濃度 (メチルイソチオシアネートに換算した値) を示した。

注3) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注4) (#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注5) 今回、新たに提出された作物残留試験成績に網を付けて示している。

メタムアンモニウム（カーバム）の作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) ^{注1)}	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
たまねぎ (りん茎)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種24日前処理	280	圃場A:<0.005
					は種28日前処理	259	圃場B:<0.005
こんにゃく (球茎)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付24日前処理	169	圃場A:<0.005
					植付26日前処理	171	圃場B:<0.005
きゅうり (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付17日前処理	56	圃場A:0.003
					植付14日前処理	58	圃場B:0.003
すいか (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	91	圃場A:<0.003
					植付22日前処理	107	圃場B:<0.003
キャベツ (葉球)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	69	圃場A:<0.003
						77	圃場B:<0.003
はくさい (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	75	圃場A:<0.003
						97	圃場B:<0.003
根深ねぎ (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	253	圃場B:<0.003
葉ねぎ (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	224	圃場B:<0.003
だいこん (根部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, は種14日前, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん (葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, は種14日前, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん(つまみ菜) (茎葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	24	圃場A:<0.003
						23	圃場B:<0.003
だいこん(間引き菜) (茎葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	35	圃場A:<0.003
						34	圃場B:<0.003
トマト (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌混和処理	1	作付37日前処理	115	圃場A:<0.003
					作付17日前処理	96	圃場B:<0.003
ほうれんそう (茎葉)	4	50.0%液剤	100倍希釈 3000 L/10 a 灌水チューブ処理	1	は種15日前処理	60	圃場A:0.008
					は種14日前処理	55	圃場B:0.007
						54, 61, 68	圃場C:0.014 (1回, は種14日前, 54日)
いちご (果実)	2	50.0%液剤	100倍希釈 4000 L/10 a 灌水チューブ処理	1	植付14日前処理	104	圃場A:<0.003 (#) ^{注2)}
					植付13日前処理	118	圃場B:<0.003 (#)

注1) メチルイソチオシアネート及びメタムアンモニウムの合計濃度（メチルイソチオシアネートに換算した値）を示した。

当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）の作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数
ばれいしょ (塊茎)	1	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前	134	圃場A:0.03
	1		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	植付16日前	104	圃場A:0.005 (#) 注2)
さといも (塊茎)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前	196	圃場A:<0.005
	2		原液 60 L/10 a 土壌注入		植付17日前	230	圃場B:<0.005
かんしょ (塊根)		2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植22日前	144
	定植17日前					137	圃場B:<0.005
やまのいも (塊茎)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植27日前	196	圃場A:<0.01
					定植29日前	209	圃場B:<0.01
こんにゃく (球茎)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付32日前	166, 177	圃場A:<0.005 (1回, 植付32日前, 166日)
	2		原液 60 L/10 a 土壌注入		植付19日前	159, 169	圃場B:0.007 (1回, 植付19日前, 159日)
だいこん (葉部)		4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和			は種18日前		98	圃場B:0.010
だいこん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	77	圃場C:<0.003
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種17日前	69	圃場D:0.006
だいこん (幼葉) (つまみ菜・間引き菜)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74	圃場A:<0.005
					は種18日前	98	圃場B:<0.005
かぶ (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	77	圃場C:<0.003
					は種17日前	69	圃場D:0.005
かぶ (葉部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	28, 35	圃場A:0.032 (1回, は種21日前, 28日)
					は種18日前	31, 38	圃場B:0.030 (1回, は種21日前, 31日)
はくさい (茎葉)	2	30.0%液剤	2倍希釈 160 L/10 a 土壌散布混和	1	作付15日前	122	圃場A:<0.005
					作付18日前	66	圃場B:<0.005
キャベツ (茎葉)	4	30.0%液剤	原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	122	圃場A:<0.005
					定植18日前	66	圃場B:<0.005
ブロッコリー (花蕾)	2	30.0%液剤	原液 63.3 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	98	圃場A:<0.005 (#)
			原液 60 L/10 a 土壌注入		定植17日前	130	圃場B:0.006 (#)
ごぼう (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	70	圃場C:0.005 (#)
					定植18日前	84	圃場D:<0.003 (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	30.0%液剤	8倍希釈 640 L/10 a 土壌表面散布	1	定植14日前	90	圃場A:<0.006
			7倍希釈 560 L/10 a 土壌表面散布		定植16日前	98	圃場B:<0.006
ねぎ (茎葉)	5	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植21日前	66	圃場A:<0.003
			3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和		移植17日前	61	圃場B:0.005
にんにく (鱗茎)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植23日前	195	圃場C:<0.002
			3.7倍希釈 222 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	84	圃場A:0.003
にら (茎葉)	2	30.0%液剤	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植14日前	167	圃場B:<0.002
			42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)		定植17日前	293	圃場A:0.02
にら (花茎)	2	30.0%液剤	42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植27日前	278	圃場B:0.02
					定植21日前	213	圃場A:<0.005
にんじん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	137	圃場B:0.005
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植10日前	107, 114, 121	圃場A:0.01 (1回, 定植10日前, 107日)
にんじん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植10日前	112, 119, 126, 147	圃場B:0.02 (1回, 定植10日前, 119日)
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種21日前	126, 133	圃場A:<0.005 (1回, は種21日前, 126日)
にんじん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種20日前	145, 152	圃場B:<0.005 (1回, は種21日前, 145日)
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種20日前	158	圃場A:<0.003
にんじん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	127	圃場B:<0.003
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種17日前	127	圃場B:<0.003

メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）の作物残留試験一覧表（国内）

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数
トマト (果実)	4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	76	圃場A:0.002
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植21日前	79	圃場B:<0.005
					定植17日前	67	圃場C:<0.003
					定植26日前	108	圃場D:<0.003
ピーマン (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植20日前	70	圃場A:0.008
			定植18日前		59	圃場B:<0.005	
	2		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植24日前	75	圃場A:<0.01 (#)
			定植21日前		83	圃場B:<0.01 (#)	
なす (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	59	圃場A:<0.005
			77			圃場B:<0.005	
	2		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	84	圃場A:<0.01 (#)
			76			圃場B:<0.01 (#)	
きゅうり (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植10日前	49, 56	圃場A:<0.005 (1回, 定植10日前, 49日)
			定植21日前		62, 69	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 62日)	
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植18日前	46	圃場A:<0.003
					定植24日前	86	圃場B:0.006
かぼちゃ (果実)	3	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植20日前	109	圃場A:<0.003
			定植17日前		87	圃場B:0.003	
			5倍希釈 300 L/10 a 土壌散布混和		定植27日前	99	圃場C:0.034
すいか (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	86	圃場A:<0.005
			91			圃場B:<0.005	
	2		100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布		1	184	圃場A:<0.003
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和			定植17日前	104
2	0.4 L/m ² (床土) +原液 60 L/10 a (本圃) 土壌注入	2	定植39日前	77	圃場A:<0.003 (#)		
	定植17日前		91	圃場B:0.023 (#)			
メロン (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	106	圃場A:<0.005
			定植32日前		113	圃場B:<0.005	
	2		100倍希釈 8000 L/10 a 土壌表面散布		定植36日前	137	圃場A:<0.005
			3倍希釈 240 L/10 a 土壌表面散布		定植17日前	96	圃場B:<0.005
ほうれんそう (茎葉)	4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	51, 64	圃場A:0.044 (1回, は種17日前, 51日)
			51, 58		圃場B:0.028 (1回, は種17日前, 58日)		
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種19日前	55	圃場C:0.005
			は種20日前		50	圃場D:0.004	
チンゲンサイ (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	44	圃場A:0.02
			45		圃場B:<0.01		
みずな (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	55	圃場A:0.06
			49		圃場B:0.02		
しょうが (塊茎)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	195	圃場A:<0.005
			定植41日前		229	圃場B:<0.005	
未成熟えんどう (さや)	3	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	は種18日前	121	圃場A:0.011
					は種19日前	140	圃場B:<0.003
					定植20日前	82	圃場C:<0.003
みょうが (花穂)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植33日前	230	圃場A:<0.003
					定植17日前	76	圃場B:<0.003
いちご (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	158, 165	圃場A:<0.005 (1回, 定植21日前, 158日)
			140, 148		圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 140日)		
	2		3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		植付17日前	96	圃場A:<0.003
					植付18日前	131	圃場B:<0.003

注1) メチルイソチオシアネート及びメタムアンモニウムの合計濃度（メチルイソチオシアネートに換算した値）を示した。

当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
やまのいも (塊茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付30日前処理	197	圃場A:0.057
					植付36日前処理	243	圃場B:<0.005
こんにやく (球茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	178	圃場A:0.006
					植付16日前処理	162	圃場B:<0.005
だいこん (根部)	6	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.02
						81	圃場D:<0.02
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, は種14日前, 69日)
	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, は種14日前, 61日)					
だいこん (葉部)	6	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.01
						81	圃場D:<0.01
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, は種14日前, 69日)
	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, は種14日前, 61日)					
だいこん (つまみ菜・間引き菜)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種14日前処理	22, 28	圃場A:<0.01 (1回, は種14日前, 22日)
					26, 34	圃場B:0.01 (1回, は種14日前, 26日)	
かぶ (根部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
かぶ (葉部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付34日前処理	108	圃場A:<0.005
					植付22日前処理	90	圃場B:<0.005
キャベツ (葉球)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	176	圃場A:<0.005
					植付16日前処理	86	圃場B:<0.005
ごぼう (根部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前処理	191, 198, 205	圃場A:<0.01 (1回, は種21日前, 191日)
						161, 168, 175	圃場B:<0.01 (1回, は種21日前, 161日)
レタス (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	116, 123, 130	圃場A:<0.01 (1回, 植付21日前, 116日)
						52, 59, 66	圃場B:<0.01 (1回, 植付21日前, 52日)
たまねぎ (鱗茎)	2	20.0%油剤	46.2 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理	194, 201, 208	圃場A:<0.01 (1回, 植付14日前, 194日)
					植付21日前処理	201, 208, 215	
			40 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理	185, 192, 199	圃場B:0.01 (1回, 植付14日前, 192日)
					植付21日前処理		
ねぎ (根深ねぎ) (茎葉)	3	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	182	圃場A:<0.005
					植付31日前処理	146	圃場B:<0.005
					植付13日前処理	173, 180, 187	圃場C:<0.02 (1回, 植付13日前, 173日)
ねぎ (葉ねぎ) (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付27日前処理	113, 120, 127	圃場A:<0.01 (1回, 植付27日前, 113日)
					植付14日前処理	88, 95, 102	圃場B:<0.02 (1回, 植付14日前, 88日)
にんにく (鱗茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	292	圃場A:0.034 (#) 注2)
						239	圃場B:<0.005 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付24日前処理	305	圃場A:<0.005
					植付21日前処理	292	圃場B:0.012
にんじん (根部)	5	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	134, 197	圃場A:<0.05 (1回, は種15日前, 134日)
					は種20日前処理	185	圃場B:<0.05
					は種27日前処理	143	圃場C:<0.005
					は種28日前処理	147	圃場D:<0.005
			44.4 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前処理	166, 233	圃場E:<0.05 (1回, は種17日前, 166日)
トマト (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付18日前処理	71, 84	圃場A:0.017 (1回, 植付18日前, 71日)
					植付17日前処理	65, 73	圃場B:<0.005 (1回, 植付17日前, 65日)
ミニトマト (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付17日前処理	80, 87, 94	圃場A:0.03 (1回, 植付17日前, 80日)
					植付18日前処理	98, 105, 112	圃場B:<0.01 (1回, 植付18日前, 98日)
なす (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付19日前処理	54, 75	圃場A:0.012 (1回, 植付19日前, 54日)
					植付18日前処理	71, 84	圃場B:<0.005 (1回, 植付18日前, 71日)
きゅうり (果実)	4	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付15日前処理	52, 77	圃場A:<0.003 (1回, 植付15日前, 52日)
						65, 76, 88	圃場B:<0.003 (1回, 植付15日前, 65日)
					植付21日前処理	54, 63, 75	圃場C:0.006 (1回, 植付21日前, 63日)
						67, 78, 88	圃場D:0.005 (1回, 植付21日前, 67日)
すいか (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	94	圃場A:0.009
					植付22日前処理	114	圃場B:<0.005

メチルイソチオシアネートの作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件					残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
メロン (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	112	圃場A:<0.005
					植付30日前処理	113	圃場B:<0.005
ほうれんそう (茎葉)	4	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	89	圃場A:0.033
					は種29日前処理	72	圃場B:0.006
					は種28日前処理	66	圃場C:0.031
しょうが (根茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	159, 166, 173	圃場A:<0.01 (1回, 植付20日前, 159日)
					植付21日前処理	228, 235, 242	圃場B:<0.01 (1回, 植付21日前, 228日)
ふき (可食部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	140	圃場A:<0.005
						155	圃場B:<0.005
いちご (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付22日前処理	206	圃場A:<0.005
					植付17日前処理	237	圃場B:<0.005

注1) 表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について () 内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、登録又は申請された適用の範囲内で試験が行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
ばれいしょ	0.2	0.2	○			Na : 0.005(#), 0.03(¥)
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.02	○			Na : <0.003, <0.003(¥)
かんしょ	0.02	0.02	○			Na : <0.005, <0.005(¥)
やまいも (長いもをいう。)	0.3	0.3	○			MITC : <0.005, 0.057(¥)
こんにゃくいも	0.05	0.05	○			Na : <0.01, <0.01(¥)
てんさい	0.02	0.02	○			D : <0.005, <0.005(#)(¥)
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.04	0.05	○			MITC : <0.01~<0.04(n=6)
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	2	2	○			D : 0.021, 0.599(¥) (つまみ菜)
かぶ類の根	0.01	0.02	○			D : <0.005(n=4)
かぶ類の葉	0.01	0.02	○			Na : <0.005, <0.005 MITC : <0.005, <0.005 D : <0.005(n=4)
はくさい	0.01	0.02	○			Na : <0.005, <0.005 MITC : <0.005, <0.005 D : <0.005~<0.006(n=4)
キャベツ	0.02	0.02	○			NH4 : <0.003, <0.003 MITC : <0.005, <0.005
ケール	0.02		申			D, MITC : <0.005, <0.005(¥)
こまつな	0.02	0.02	○・申			(こまつな参照) D : 0.004, 0.004, 0.01
きょうな	0.3	0.3	○			Na : 0.02, 0.06(¥) (みずな)
チンゲンサイ	0.1	0.1	○			Na : <0.01, 0.02(¥)
カリフラワー	0.01	0.01	○			D : <0.002, <0.002(¥)
ブロッコリー	0.03	0.03	○			Na : <0.006, <0.006(¥)
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.2	○			D : <0.008, 0.032(¥) (つぼみな)
ごぼう	0.05	0.05	○			MITC : <0.01, <0.01(¥)
しゅんぎく	0.05	0.05	○			D : <0.004, 0.013(¥)
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	0.05	0.05	○			D : <0.004~<0.02(n=4)
その他のきく科野菜	0.1	0.1	○			D : <0.02, <0.02(葉ごぼう)
たまねぎ	0.1	0.1	○			D : <0.02, 0.02(¥)
ねぎ (リーキを含む。)	0.02	0.1	○			MITC : <0.005, <0.005, <0.02 (根深 ねぎ) <0.01, <0.02(葉ねぎ)
にんにく	0.2	0.2	○			MITC : <0.005, 0.034(#)(¥)
にら	0.02	0.03	○・申			Na : <0.005, 0.005(¥)
わけぎ	0.1	0.1	○			D : 0.015, 0.02※1
その他のゆり科野菜	0.1	0.1	○			D : 0.013, 0.016(¥) (らっきょう)
にんじん	0.05	0.1	○			MITC : <0.005~<0.05(n=5)
パセリ	0.03	0.03	○			D : 0.005, 0.007(¥)
セロリ	0.01	0.01	○			D : 0.002, 0.002(¥)
みつば	0.1	0.1	○			D : <0.02, <0.02(¥)
その他のせり科野菜	0.2	0.2	○			D : <0.04, <0.04(¥) (あしたば)
トマト	0.5	0.5	○			D : <0.02, 0.111(¥)
ピーマン	0.1	0.1	○			D : <0.02, <0.02(¥)
なす	0.05	0.05	○			MITC : <0.005, 0.012(¥)
その他のなす科野菜	0.02	0.02	○			D : <0.004, <0.004(¥) (ししとう)
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.08	0.05	○			D : <0.002~0.042(n=12)※2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.1	○			D : 0.018, 0.022(¥)
すいか	0.05	0.05	○			MITC : <0.005, 0.009(¥)
メロン類果実	0.02	0.02	○			Na : <0.005, <0.005(¥)
その他のうり科野菜	0.1	0.1	○			MITC : <0.005, <0.005(¥) D : <0.01, 0.02(¥) (にがうり)
ほうれんそう	0.1	0.2	○			Na : 0.004~0.044(n=4)
しょうが	0.1	0.1	○			D : <0.02, <0.02(¥)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
未成熟えんどう	0.1	0.1	○			D : 0.006, 0.018(¥) (さやえんどう)
未成熟いんげん	0.02	0.02	○			D : <0.004, <0.004(¥)
えだまめ	0.05	0.05	○			D : <0.009, <0.009(¥)
その他の野菜	0.1	0.1	○			(未成熟えんどう参照)
いちご	0.02	0.02	○			MITC : <0.005, <0.005(¥)
その他のハーブ	0.3	0.1	○・申			D : <0.01, 0.09(¥) (しそ)

申請（国内における登録、承認等の申請、インポート/トランス申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#) これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥) 作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

作物残留試験成績等については、ダゾメット(D)、メタムアンモニウム(NH₄)、メタムナトリウム(Na)及びメチルイソチオシアネート(MITC)の内、最大残留濃度が認められた剤の試験成績をMITCに換算した値で表している。

※1 使用量が20 kg/10 aの圃場A、Bと30 kg/10 aの圃場A、Bとは同一圃場なので、それぞれの圃場の平均値0.015及び0.02を記載した。

※2 きゅうりについてはプロポーシヨナリティ (proportionality) の原則に基づき、処理量の比例性を考慮して換算した。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
げれいしょ	0.2	0.018	7.7	0.7	6.8	0.6	8.4	0.7	7.0	0.6
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.003	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
かんしょ	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0
やまいも (長いもをいう。)	0.3	0.031	0.9	0.1	0.3	0.0	0.5	0.1	1.3	0.1
こんにやくいも	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
てんさい	0.02	0.005	0.7	0.2	0.6	0.1	0.8	0.2	0.7	0.2
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の根	0.04	0.023	1.3	0.8	0.5	0.3	0.8	0.5	1.8	1.1
だいこん類 (ラディッシュを含む。) の葉	2	0.31	3.4	0.5	1.2	0.2	6.2	1.0	5.6	0.9
かぶ類の根	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
かぶ類の葉	0.01	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.01	0.006	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1
キャベツ	0.02	0.005	0.5	0.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.5	0.1
ケール	0.02	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
こまつな	0.02	0.006	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
きょうな	0.3	0.04	0.7	0.1	0.1	0.0	0.4	0.1	0.8	0.1
チンゲンサイ	0.1	0.015	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
カリフラワー	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.03	0.006	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.02	0.7	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	1.0	0.1
ごぼう	0.05	0.01	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
しゅんぎく	0.05	0.009	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
レタス (サラダ菜及びびらしゃを含む。)	0.05	0.012	0.5	0.1	0.2	0.1	0.6	0.1	0.5	0.1
その他のきく科野菜	0.1	0.02	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
たまねぎ	0.1	0.02	3.1	0.6	2.3	0.5	3.5	0.7	2.8	0.6
ねぎ (リーキを含む。)	0.02	0.012	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.1
にんにく	0.2	0.02	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0
にら	0.02	0.005	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
わけぎ	0.1	0.018	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.1	0.015	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
にんじん	0.05	0.032	0.9	0.6	0.7	0.5	1.1	0.7	0.9	0.6
パセリ	0.03	0.006	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他のせり科野菜	0.2	0.04	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
トマト	0.5	0.066	16.1	2.1	9.5	1.2	16.0	2.1	18.3	2.4
ピーマン	0.1	0.02	0.5	0.1	0.2	0.0	0.8	0.2	0.5	0.1
なす	0.05	0.009	0.6	0.1	0.1	0.0	0.5	0.1	0.9	0.1
その他のなす科野菜	0.02	0.002	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.08	0.018	1.7	0.4	0.8	0.2	1.1	0.3	2.0	0.5
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.022	0.9	0.2	0.4	0.1	0.8	0.2	1.3	0.3
すいか	0.05	0.007	0.4	0.1	0.3	0.0	0.7	0.1	0.6	0.1
メロン類果実	0.02	0.005	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のうり科野菜	0.1	0.015	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
ほうれんそう	0.1	0.02	1.3	0.3	0.6	0.1	1.4	0.3	1.7	0.3
しょうが	0.1	0.02	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
未成熟えんどう	0.1	0.012	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
未成熟いんげん	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
えだまめ	0.05	0.009	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他の野菜	0.1	0.012	1.3	0.2	0.6	0.1	1.0	0.1	1.4	0.2
いちご	0.02	0.005	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
その他のハーブ	0.3	0.05	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.1
計			46.1	7.9	26.7	4.4	47.5	8.0	53.6	9.3
ADI比 (%)			20.9	3.6	40.4	6.6	20.3	3.4	23.9	4.2

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしよ	ばれいしよ	0.2	0.2	1.9	2
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.3	0
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	2.4	2
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.04	0.04	0.5	1
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	2	2	16.5	20
かぶ類の根	かぶの根	0.01	○ 0.005	0.0	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.01	○ 0.005	0.0	0
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.2	0
ケール	ケール	0.02	0.02	0.2	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0.1	0
きょうな	きょうな	0.3	0.3	1.0	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	1
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.2	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.2	0.2	1.6	2
	菜花	0.2	0.2	0.6	1
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.05	0.05	0.2	0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.05	○ 0.02	0.1	0
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	0.8	1
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.02	0.02	0.1	0
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にら	にら	0.02	0.02	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.1	○ 0.02	0.0	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	0
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.2	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.05	0.3	0
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
	パセリ (乾燥)	0.03	0.03	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	0.1	0.1	0.1	0
その他のせり科野菜	せり	0.2	0.2	0.3	0
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	6
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.3	0
なす	なす	0.05	0.05	0.3	0
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	0.02	0.02	0.0	0
	ししとう	0.02	0.02	0.0	0
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.08	○ 0.042	0.3	0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.0	1
	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	1
すいか	すいか	0.05	0.05	1.6	2
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.3	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.1	0.1	1.7	2
	にがうり	0.1	0.1	0.8	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.1	○ 0.044	0.2	0
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.1	0.1	0.2	0
	未成熟えんどう (豆)	0.1	0.1	0.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.1	0.1	1.0	1
	もやし	0.1	0.1	0.2	0
	れんこん	0.1	0.1	0.6	1
	そら豆 (生)	0.1	0.1	0.3	0
いちご	いちご	0.02	0.02	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD(%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの推定摂取量（短期）：幼児(1～6歳)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	4.5	5
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	4.1	4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.04	0.04	0.9	1
はくさい	はくさい	0.01	○ 0.006	0.1	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.3	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0.2	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.4	0
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.3	0
レタス (サラダ菜及びちしやを含む。)	レタス類	0.05	○ 0.02	0.2	0
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	1.8	2
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.02	0.02	0.1	0
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にら	にら	0.02	0.02	0.0	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.5	1
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	10
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.7	1
なす	なす	0.05	○ 0.05	0.8	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.08	○ 0.042	0.6	1
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.6	2
ずいか	ずいか	0.05	0.05	4.3	4
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.1	○ 0.044	0.5	1
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.1	0.1	0.1	0
	未成熟えんどう (豆)	0.1	0.1	0.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.1	0.1	0.4	0
	れんこん	0.1	0.1	1.0	1
いちご	いちご	0.02	0.02	0.2	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD (%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

平成17年	11月29日	残留基準告示
平成25年	3月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん（つまみ菜及び間引き菜））
平成25年	6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年	3月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年	11月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会
平成29年	7月18日	残留農薬基準告示
平成30年	9月11日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：こまつな、にら、しそ）
令和元年	5月22日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和元年	8月27日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和元年	12月20日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和元年	12月20日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

- 穂山 浩 国立医薬品食品衛生研究所食品部長
- 石井 里枝 埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
- 井之上 浩一 学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
- 大山 和俊 一般財団法人残留農薬研究所化学部長
- 折戸 謙介 学校法人麻布獣医学園麻布大学獣医学部生理学教授
- 魏 民 公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科
環境リスク評価学准教授
- 佐々木 一昭 国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
- 佐藤 清 元 一般財団法人残留農薬研究所理事
- 佐野 元彦 国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
- 瀧本 秀美 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
- 永山 敏廣 学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
- 根本 了 国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
- 二村 睦子 日本生活協同組合連合会組織推進本部長
- 宮井 俊一 元 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
- 吉成 浩一 静岡県公立大学法人静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

(○：部会長)

答申（案）

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今回基準値を設定するダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートとは、メチルイソチオシアネートをいう。ただし、ダズメット及びメタム由来のメチルイソチオシアネートを含めたものとする。

食品名	残留基準値 ppm
ばれいしょ	0.2
さといも類（やつがしらを含む。）	0.02
かんしょ	0.02
やまいも（長いもをいう。）	0.3
こんにゃくいも	0.05
てんさい	0.02
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根	0.04
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉	2
かぶ類の根	0.01
かぶ類の葉	0.01
はくさい	0.01
キャベツ	0.02
ケール	0.02
こまつな	0.02
きょうな	0.3
チンゲンサイ	0.1
カリフラワー	0.01
ブロッコリー	0.03
その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0.2
ごぼう	0.05
しゅんぎく	0.05
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	0.05
その他のきく科野菜 ^{注2)}	0.1
たまねぎ	0.1
ねぎ（リーキを含む。）	0.02
にんにく	0.2
にら	0.02
わけぎ	0.1
その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.1
にんじん	0.05
パセリ	0.03
セロリ	0.01
みつば	0.1
その他のせり科野菜 ^{注4)}	0.2
トマト	0.5
ピーマン	0.1
なす	0.05
その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.02
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.08
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.1
すいか	0.05
メロン類果実	0.02

食品名	残留基準値 ppm
その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.1
ほうれんそう	0.1
しょうが	0.1
未成熟えんどう	0.1
未成熟いんげん	0.02
えだまめ	0.05
その他の野菜 ^{注7)}	0.1
いちご	0.02
その他のハーブ ^{注8)}	0.3

注1)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類(ラディッシュを含む。)の根、だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

注2)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)及びハーブ以外のものをいう。

注3)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ(リーキを含む。)、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注4)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注5)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

注6)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり(ガーキンを含む。)、かぼちゃ(スカッシュを含む。)、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注7)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。